

閣甲一四六

昭和十四年七月三日 内閣書記官長

内閣書記官

内閣書記官

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

陸軍大臣

文部大臣

遞信大臣

厚生大臣

内務大臣

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

近衛樞密院議長

大藏大臣

司法大臣

商工大臣

拓務大臣

別紙 内閣總理大臣及拓務厚生兩大臣
 請議國民ノ徵用ニ關スル勅令制定ノ件
 ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

閣議決定セラレ可然ト認ム

勅 令 案

朕國民徵用令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十四年七月七日

内閣總理大臣

拓務大臣

厚生大臣

呈案附箋ノ通

法制局閣第一三二號

昭和十四年六月廿三日

閣議請議

國民ノ徵用ニ關スル勅令制定ノ件

國ニ於テ行フ總動員業務ニ必要ナル人員ノ充足ヲ適正迅速ナラシム
ル爲國家總動員法第四條ノ規定ニ基キ國民ノ徵用ニ關スル勅令ヲ制定スルノ必要アリ仍テ別紙勅令案ヲ提出ス

右閣議ヲ請フ

昭和十四年六月二十三日

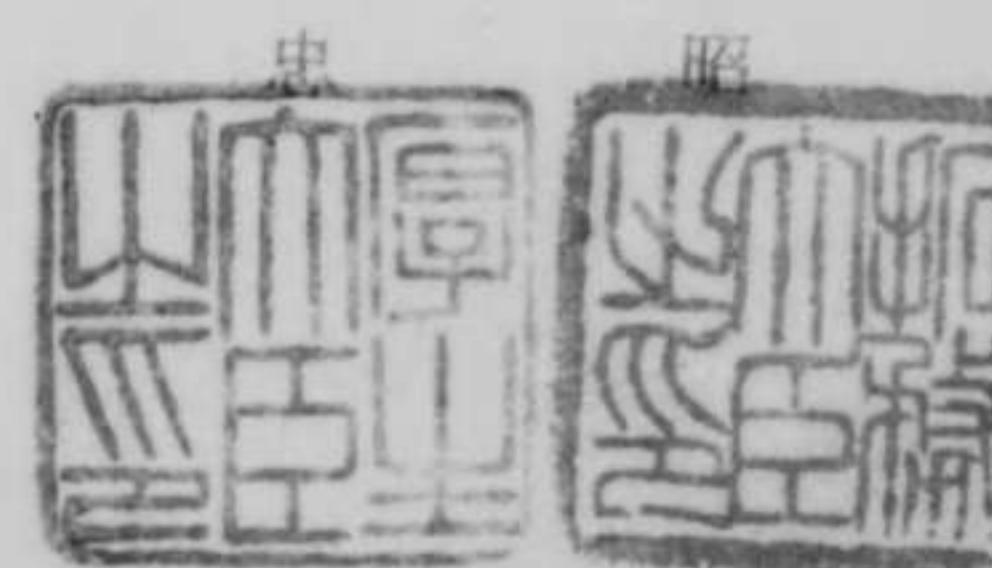
内閣總理大臣 男爵 平沼騏一郎



内閣總理大臣 男爵 平沼 駿一郎 殿

拓務大臣 小磯 國昭

厚生大臣 廣瀬 久



勅令第四百五十一號

國民徵用令

第一條 國家總動員法第四條ノ規定ニ基ク帝國臣民ノ徵用、トハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル。

第二條 徵用ハ特別ノ事由アル場合ノ外職業紹介所ノ職業紹介其ノ他募集ノ方法ニ依リ所要ノ人員ヲ得ラレザル場合ニ限り之ヲ行フモノトス

第三條 徵用ハ國民職業能力申告令ニ依ル要申告者（以下要申告者ト稱ス）ニ限り之ヲ行フ但シ、
徵用中要申告者タラザルニ至リタル者ヲ引續キ徵用スル必要アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 本令ニ依リ徵用スル者ハ國ノ、行フ總動員業務ニ從事セシムルモノトス

第五條 徵用及徵用ノ解除ハ厚生大臣ノ命令ニ依リ之ヲ實施ス

第六條 總動員業務ヲ行フ官衛^{法務省ニシテ}、陸海軍、部隊及學校、當該ニ配置ヲ必

要ト認ムルトキハ厚生大臣ニ請求スペシ

第七條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ徵用ノ必要アリト認ムルトキハ徵用命令ヲ發シ徵用セラルベキ者ノ居住地(國民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ者ノ就業地)ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スペシ

地方長官徵用命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用令書ヲ發シ徵用セラルベキ者ニ之ヲ交付スペシ

第八條 徵用令書ニハ左ニ掲タル事項ヲ記載スペシ但シ軍機保護上特ニ必要アルトキハ第三號ニ掲ゲ又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍、居住ノ場所(國民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ニ付テハ就業ノ場所)

二 從事スペキ總動員業務ヲ行フ官衛ノ名稱及所在地

三 從事スペキ總動員業務、職業及場所

四 徵用ノ期間

五 出頭スペキ日時及場所

六 其ノ他必要ト認事項

第九條 地方長官徵用セラルベキ者ノ、
度、身體ノ狀態、家庭ノ状況、希望等ヲ斟酌シ徵用ノ適否並ニ從事

スベキ總動員業務、職業及場所ヲ決定シ徵用令書ヲ發スペシ
第十條 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵

第四條 本令ニ依リ徵用スル者ハ國ノ、行フ總動員業務ニ從事セシムルモノトス

第五條 徵用及徵用ノ解除ハ厚生大臣ノ命令ニ依リ之ヲ實施ス

第六條 總リテ含ム以下之ニ同シノ所管大臣徵用ニ依リ當該ニ配置ヲ必
要ト認ムルトキハ厚生大臣ニ請求スベシ

第七條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ徵用ノ必
要アリト認ムルトキハ徵用命令ヲ發シ徵用セラルベキ者ノ居住地國
民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ者
ノ就業地一ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スベシ

地方長官徵用命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用令書ヲ發シ徵用

セラルベキ者ニ之ヲ交付スペシ

第八條 徵用令書ニハ左ニ掲タル事項ヲ記載スペシ但シ軍機保護上特
ニ必要アルトキハル事項ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍、居住ノ場所(國)
民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ニ付テハ就業
ノ場所一

二 従事スベキ總動員業務ヲ官衙ノ名稱及所在地

三 従事スベキ總動員業務、職業及場所

四 徵用ノ期間

五 出頭スベキ日時及場所

六 其ノ他必要ト認事項

第九條 地方長官徵用セラルベキ者ノ、
(國)、
居住及、就業ノ場所、職業、技能程

度、身體ノ狀態、家庭ノ狀況、希望等ヲ斟酌シ徵用ノ適否並ニ從事
スベキ總動員業務、職業及場所ヲ決定シ徵用令書ヲ發スベシ
第十條 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵

第四條 本令ニ依リ徵用スル者ハ國ノ、行フ總動員業務ニ從事セシムルモノトス

第五條 徵用及徵用ノ解除ハ厚生大臣ノ命令ニ依リ之ヲ實施ス

第六條 總リテラム以下ニ同ジノ所管大臣徵用官衛ニ人員ノ配置ヲ必
要ト認ムルトキハ厚生大臣ニ請求スベシ

第七條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ徵用ノ必
要アリト認ムルトキハ徵用命令ヲ發シ徵用セラルベキ者ノ居住地國
民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ者
ノ就業地一ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スベシ

地方長官徵用命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用令書ヲ發シ徵用

セラルベキ者ニ之ヲ交付スペシ

第八條 徵用令書ニハ左ニ掲タル事項ヲ記載スベシ但シ軍機保護上特
ニ必要アルトキハル事項ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍、居住ノ場所(國)
民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ニ付テハ就業

ノ場所一

二 從事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙ノ名稱及所在地

三 從事スベキ總動員業務、職業及場所

四 徵用ノ期間

五 出頭スベキ日時及場所

六 其ノ他必要ト認事項

第九條 地方長官徵用セラルベキ者ノ、
度、身體ノ状態、家庭ノ状況、希望等ヲ斟酌シ徵用ノ適否並ニ從事

スベキ總動員業務、職業及場所ヲ決定シ徵用令書ヲ發スベシ
第十條 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵

第四條 本令ニ依リ徵用スル者ハ國ノ・・行フ總動員業務ニ從事セシ
ムルモノトス

第五條 徵用及徵用ノ解除ハ厚生大臣ノ命令ニ依リ之ヲ實施ス

第六條 總トテ含ム以下之ニ同シノ所管大臣徵用官衛ニ人員ノ配置ヲ必
要ト認ムルトキハ厚生大臣ニ請求スベシ

第七條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ徵用ノ必
要アリト認ムルトキハ徵用命令ヲ發シ徵用セラルベキ者ノ居住地國
民職業能力申告令第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ニ付テハ其ノ者
ノ就業地一ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スベシ

地方長官徵用命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用令書ヲ發シ徵用
セラルベキ者ニ之ヲ交付スペシ

第八條 徵用令書ニハ左ニ掲タル事項ヲ記載スベシ但シ軍機保護上特
ニ必要アルトキハル事項ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

- 一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍、居住ノ場所(前項)
- 二 従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衛ノ名稱及所在地
- 三 従事スベキ總動員業務、職業及場所
- 四 徵用ノ期間
- 五 出頭スベキ日時及場所
- 六 其ノ他必認ムル事項

第九條 地方長官徵用セラルベキ者ノ、
度、身體ノ状態、家庭ノ状況、希望等ヲ斟酌シ徵用ノ適否並ニ從事
スベキ總動員業務、職業及場所ヲ決定シ徵用令書ヲ發スベシ
第十條 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵

用セラルベキ者ニ出頭ヲ求ムルコトヲ得

第十一條 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者疾病其ノ他避クベカラザル事
故ニ因リ指定ノ日時及ヽ、ヽ、場所ニ出頭スルコト能ハザル場合ハ命
令ノ定ムレルニ依リ、ヽ、地方長官ニ其ノゾベシ

前項ノ届出アリタル場合ニ於テ地方長官必要アリト認ムルトキヘ
・、・、・、・、・、出頭ノ日時若ハ場所ヲ變更シ又ハ其ノ者徵用ニ
適セズト認ムルトキヘ徵用ヲ取消ス、コトヲ得此ノ場合ニ於テハ出
頭變更令書又”徵用取消令書ヲ發シ其ノ者ニ之ヲ交付スベシ從事スル總
第十二條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣被徵用者ハ該場所又ハ
動員業務、職業若ハ場所又ハ徵用ノ期間ニ付變更ヲ必要トスルトキハ
厚生大臣ニ請求スベシ

第十三條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ必要ア
リト認ムルトキハ被徵用者ノ從事スル總動員業務、職業若ハ場所又ハ
徵用ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第十四條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣被徵用者ハ疾病其ノ他
ノ事由ニ因リ總動員業務ト認ムルトキ又ハ其ノ者ヲシテ總動員業
務ニ從事セシムル必要ナキニ至リタルトキハ厚生大臣ニ徵用ノ解除
ヲ請求スベシ

被徵用者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ從事シ難キ場合ニ於
テハ被徵用者ヲ使其ノ旨ヲ原山ツルコトヲ得

第十五條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テハ徵用
ヲ解除スルコトヲ得

厚生大臣必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依ル請求ナキ場合ト
雖モ被徵用者ヲ建議シ徵用ヲ解除スルコトヲ得

第十六條 厚生大臣徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ徵用變
更命令又ハ徵用解除命令ヲ發シ命令ノ定ムル所ニ依リ被徵用者ノ就

用セラルベキ者ニ出頭ヲ求ムルコトヲ得

第十一條 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者疾病其ノ他避クベカラザル事
故ニ因リ指定ノ日時及、、場所ニ出頭スルコト能ハザル場合ハ命
令ノ定ムル所ニ依リ、、地方長旨ヲ届出ヅベシ

第十二條 届出アリタル場合ニ於テ地方長官必要アリト認ムルトキハ
被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣被徵用者ノ從事スル總
動員業務、職業若ハ場所又ハ徵用ノ期間ニ付變更ヲ必要トスルトキハ
厚生大臣ニ請求スベシ

第十三條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ必要ア
リト認ムルトキハ被徵用者ノ從事スル總動員業務、職業若ハ場所又ハ
徵用ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第十四條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣被徵用者力疾病其ノ他
ノ事由ニ從事スルニ適セズト認ムルトキ又ハ其ノ者ヲシテ總動員業
務ニ從事セシムル必要ナキニ至リタルトキハ厚生大臣ニ徵用ノ解除
ヲ請求スベシ

被徵用者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ從事シ難キ場合ニ於
用スル官衙、所管大臣ニ其ノ旨ヲ申出ヅルコトヲ得

第十五條 厚生大臣ニ其ノ旨ヲ申出ヅルコトヲ得

第十六條 厚生大臣徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ徵用變
更命令又ハ徵用解除命令ヲ發シ命令ノ定ムル所ニ依リ被徵用者ノ就

業地ヲ管轄スル地方長官、又ハ徵用令書ヲ發シタル地方長官又ハ第八條第五號

地方長官徵用變更命令又ハ徵用解除命令ノ通達ヲ受ケタレトキハ直ニ徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ、破數日迄ニ及ぶる事ナリ

被徵用者ニ於テ就業スル場合、
ニ於テ徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ厚生
大臣徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スベシ
第十七條　被徵用者總動員業務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ總動員業
務ヲ行フ官衙ノ長ノ指揮ヲ受クヘシ

且從前ノ給與其ノ他之ニ準ヲ斟酌シテ之ヲ支給ス
被徵用者ニ關シ必要ナル事項ハ被徵用者ヲ使大臣ニ協議シ之ヲ定

用者徵用令書ノ交付ヲ受ケ指定ノ場所ニ出頭スル場合又ハ徵用ヲ解除セラレ歸郷スル場合ニ於テハ旅費、、、、、ヲ支給ス
前項ノ場合ニ於テ前金拂ヲ爲スニ非ザレバ出頭スルコト能ハザル者ノ旅費ハ、、、、、其ノ者ノ居住地市町村又ハ之ニ準ズキモノニ於テ一時繰替支辨スペシ

徵用セラルベキ者第十條ノ規定ニ依リ出頭スル場合ノ旅費及其ノ一時繰替支辨ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

ノ一時繰替支辨竝ニ徵用ヲ解除セラレ歸郷スル場合ノ旅費ニ關シ必要ナル事項ハ被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣厚生大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

業地ヲ管轄スル地方長官、ノ徵用令書ヲ發シタ
リ五號ノ出頭場所ヲ管轄
達スペシ

地方長官徵用變更命令又ハ徵用解除命令ノ通達ヲ受ケタレトキハ直ニ徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ、彼徵用者ニ付ス。

被徵用者ニ於テ就業スル場合ニ於テハ其ノ總動員業務ヲ行フ官衙ノ長ノ指揮ヲ受クヘシ
第十七條　被徵用者總動員業務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ總動員業務ヲ行フ官衙ノ長ノ指揮ヲ受クヘシ
ニ於テ徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スペシ
本令施行地外ノ場所ニ於テ就業スル場合

第十八條
被徵用者ニ對スル給與ハ其ノ者ノ技能程度、從事スル業務及場所等ニ應ジ

業地ヲ管轄スル地方長官、又、徵用金場所ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通
達スペシ

地力長官徵用變更命令父ハ徵用解除命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ、被徵用者ニ交付スベシ

被徵用者、

ニ於テ徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スベシ第十七條　被徵用者總動員業務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ總動員業務ヲ行フ官衙ノ長ノ指揮ヲ受クベシ

第十八條 被徵用者ニ對スル給與ハ其ノ者ノ技能程度、從事スル業務及場所等ニ應シ

第二十條 厚生大臣又ハ地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ、
ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基ク報告ヲ徵スルコトヲ得
厚生大臣又ハ地方長官ハ、
徵用ニ關シ必要アリト認ムルトキハ國
家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ工場、事業場其

ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ヲシテ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第二十一條　左ノ各號ノ一二該當スル者ハ之ヲ徵用セ

一、陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者ヲ除ケ）及

ヲ含ム)

生及海軍豫備補習生ヲ含ム)

三、陸海軍軍屬（被徵用者ニシテ之ニ該當スルニ至リタルモノヲ除ク）

四 醫療關係者職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者

1

六 船員法ノ船員、朝鮮船員令ノ船員及關東州船員令ノ船員
七 法令ニ依リ拘禁中ノ者

二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ特別ノ必要アル場合ノ外之

テ 徵 用 サ
一 餘 人 ヲ 以 テ 代 フ ベ カ ラ ザ ル 職 ニ 在 ル 官 吏 、 待 遇 官

二
帝國議會道府廳事
三 總動員業務ニ從事スル者ニシテ餘人ヲ以テ代フベカラザルモノ

二十三條 厚生大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介所長ヲシテ徵用ニ關スル事務ノ一部ヲ分掌セシメ又ハ市町村長（東京市、京都府、

大阪市、名古屋市、横濱市及神戸市ニ在リテハ區長ニ若ハ之ニ準ズ

市町村長（東京、京都、大阪、名古屋、横濱及神戶等）

在リテハ區長又ハ之ニ準ズベキモノノ前項ノ規定ニ依リ徵用ニ關スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ

於テ一時繰替支辨スペシ

前項人費用及其人一時經費之類。少至一月，多至二月，則此項人等

ノ他ノ場所ニ臨検シ業務ノ状況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ヲシテ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第二十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ徵用セズ

陸軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者ヲ除ケ）及
召集中ノモノ（召集中ノ身分取扱ヲ受ケル者
ヲ含ム）

四 醫療關係者職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者
五 獸醫師職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者

六 船員法ノ船員、朝鮮船員令ノ船員及關東州船員令ノ船員

ヲ
徵
用
セ
ズ

總計一萬餘督支薪水少者數十金多者數千金介乎此中者微
之多無幾也每任以少數腰袋費不足者甚其以

第二十四條 享生大臣ハ本命令施行ニ關スル重要事項ニ付内閣總理大臣

臣ニ協議スベシ

第二十五條

本令中厚生大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ總動員業務ヲ行フ官衙ノ所管大臣又ハ被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣トアルハ其ノ官衙ノ所管大臣ガ陸軍大臣又ハ海軍大臣タル場合ヲ除クノ外朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

本令中地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ職業紹介所長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ市尹又ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ廳長）、樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トスニ依ル

理由

現時我ガ國內外ノ情勢ニ鑑ミ國ノ行フ總動員業務ノ迅速圓滑ナル遂行ヲ圖ル爲原則トシテ國民職業能力申告令ノ要申告者ニ付職業紹介其ノ他一般募集ノ方途ニ依リ得ザル場合ニ於テ國家總動員法第四條ノ規定ニ依リ之等ノ者ヲ徵用シ以テ所要人員充足ニ遺憾ナカラシムル要アル

第二十六條 本令ニ規定スルモノノ外徵用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附

則

本令ハ昭和十四年七之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

理由

現時我ガ國內外ノ情勢ニ鑑ミ國ノ行フ總動員業務ノ迅速圓滑ナル遂行ヲ圖ル爲原則トシテ國民職業能力申告令ノ要申告者ニ付職業紹介其ノ他一般募集ノ方途ニ依リ得ザル場合ニ於テ國家總動員法第四條ノ規定ニ依リ之等ノ者ヲ徵用シ以テ所要人員充足ニ遺憾ナカラシムル要アルニ依ル

第二十六條 本令ニ規定スルモノノ外徵用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ在リテハ昭和十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

理 由

現時我ガ國內外ノ情勢ニ鑑ミ國ノ行フ總動員業務ノ迅速圓滑ナル遂行ヲ圖ル爲原則トシテ國民職業能力申告令ノ要申告者ニ付職業紹介其ノ他一般募集ノ方途ニ依リ得ザル場合ニ於テ國家總動員法第四條ノ規定ニ依リ之等ノ者ヲ徵用シ以テ所要人員充足ニ遺憾ナカラシムル要アルニ依ル

參照

○國家總動員法（昭和十三年四月一日）（國務大臣副署）

第四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得但シ兵役法ノ適用ヲ妨ゲズ

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ヘ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

○國民職業能力申告令（昭和十四年一月七日）（總理大臣副署）

第二條 職業能力ニ關スル事項ノ申告（以下申告ト稱ス）ハ本令施行地内ニ居住スル年齢十六年以上五十年未滿ノ帝國臣民タル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ（以下要申告者ト稱ス）ニ付之ヲ爲サシムルモノトス

- 一 本令施行地内ニ於テ引續キ三月以上厚生大臣ノ指定スル職業ニ從事スル者
- 二 引續キ一年以上前號ノ職業ニ從事シテ其ノ職業ヲ罷メ其ノ職業ヲ罷メタル日ヨリ五年ヲ経過セザル者
- 三 厚生大臣ノ指定スル大學、専門學校、實業學校其ノ他之ニ準ズベキ各種學校ニ於テ厚生大臣ノ指定スル學科ヲ修メ其ノ學校ヲ卒業シタル者
- 四 厚生大臣ノ指定スル技能者養成施設ニ於テ所定ノ課程ヲ修了シタル者
- 五 厚生大臣ノ指定スル検定若ハ試験ニ合格シタル者又ハ厚生大臣ノ指定スル免許ヲ受ケタル者
- 六 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者
- 醫療關係者職業能力申告令 昭和十三年八月十四日 (總理大臣官署)
勅令第六百號 (生大臣官署)
- 第二條 本令ニ於テ醫師トハ醫師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師トハ齒科醫師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル齒科醫師、藥劑師トハ藥劑師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル藥劑師ヲ謂フ但シ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮總督ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、臺灣ニ在リテハ各臺灣總督ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、樺太ニ在リテハ各樺太廳長官ノ免許又ハ假免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、南洋群島ニ在リテハ各南洋廳長官ノ指定スル者ヲ含ム
- 本令ニ於テ看護婦トハ命令ヲ以テ定ムル看護婦ヲ謂フ
- 獸醫師職業能力申告令 昭和十四年一月四日 (總理大臣官署)
勅令第二十六號
- 第二條 本令ニ於テ獸醫師トハ獸醫師法ニ依リ農林大臣ノ免許ヲ受ケ

タル獸醫師ヲ謂フ但シ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ノ免許ヲ受ケタル獸
醫師ヲ、臺灣ニ在リテハ臺灣總督ノ免許證ヲ受ケタル獸醫ヲ、樺太
ニ在リテハ樺太廳長官ノ假免狀ヲ受ケタル獸醫ヲ、南洋群島ニ在リ
テハ南洋廳長官ノ指定スル者ヲ含ム

○船員法　ハ昭和十二年八月十四日（總理内務司法部長官訓令）

第一條 本法ニ於テ船員トハ日本船舶ニシテ左ニ掲タル船舶以外ノモ
ノニ乗組ム船長及海員ヲ謂フ

- 一 船舶法第二十條ニ規定スル船舶
- 二 平水區域ヲ航行スル船舶
- 三 總噸數三十噸未滿ノ漁船

前項ノ海員トハ左ニ掲タル者以外ノ乗組員ヲ謂フ
一 船舶所有者以外ノ者ニ雇傭セラル者

二 何人ニモ雇傭セラレズシテ業務ヲ營ム者

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者

○朝鮮船員令（昭和十三年三月二十八日）（總理内務司法部長官訓令）

- 朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ船員ニ關シテハ船員法第四十四條及
第四十五條ノ規定ヲ除クノ外同法ニ依ル
- 第一條 關東州船員令（昭和十三年十二月二十四日）（總理内務司法部長官訓令）
- 第四十四條、第四十五條及第四十八條ノ規定ヲ除クノ外同法ニ依ル

寫

總審庶第三號ノニ

昭和十四年六月十四日

國家總動員審議會總裁男爵 平沼祺一郎

内閣總理大臣男爵 平沼祺一郎 殿
拓務大臣 小磯國昭 殿
厚生大臣 廣瀬久忠 殿

諸問第二十號國民ノ徵用ニ關スル勅令案要綱ニ付慎重審議ヲ遂ゲ提案ノ趣旨適當ナルモノナリト議決致候
右答申候也

詰問第二十號

國民ノ徵用ニ關スル勅令案要綱

第一 徵用ハ特別ノ事由アル場合ノ外職業紹介所ノ職業紹介其ノ他募集ノ方法ニ依リ所要ノ人員ヲ得ラレザル場合ニ限り之ヲ行フモノトスルコト

第二 徵用ハ國民職業能力申告令ニ依ル要申告者（以下要申告者ト稱ス）ニ限り之ヲ行フコト

徵用中要申告者タラザルニ至リタル者ヲ引續キ徵用スル必要アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ者ヲ徵用シ得ルコト

第三 本令ニ依リ徵用スル者ハ國ニ於テ行フ總動員業務ニ從事セシムルモノトスルコト

第四 總動員業務ヲ行フ官衙ノ所管大臣ハ徵用ニ依リ人員ノ配置ヲ必要トルトキハ厚生大臣ニ請求スペキコト

第五 厚生大臣第四ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ徵用ノ必要

アリト認ムルトキハ徵用命令ヲ發シ徵用セラルベキ者ノ居住地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スベキコト

地方長官徵用命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用令書ヲ發シ徵用セラルベキ者ニ交付スベキコト

第六 徵用令書ニハ左ニ掲タル事項ヲ記載スベキコト但シ軍機保護上特ニ必要アルトキハ第三號ノ全部又ハ一部ヲ省略シ得ルコト
一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍、居住ノ場所
二 従事スペキ總動員業務ヲ行フ官衙ノ名稱及所在地
三 従事スペキ總動員業務、職業及場所

四 徵用ノ期間

五 出頭スペキ日時及場所

六 其ノ他必要ナル事項

第七 地方長官徵用セラルベキ者ノ從事スペキ總動員業務、職業及場所ヲ決定スル場合ハ其ノ者ノ居住又ハ就業ノ場所、職業、技能程度

身體ノ状態、家庭ノ状況、希望等ヲ斟酌スペキコト

第八 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵用セラルベキ者ニ出頭ヲ求メ得ルコト

第九 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者疾病其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ指定ノ日時ニ指定ノ場所ニ出頭スルコト能ハザル場合ハ其ノ旨地方長官ニ届出ヅベキコト

前項ノ届出アリタル場合ニ於テ地方長官必要アリト認ムルトキハ出頭ノ日時若ハ場所ヲ變更シ又ハ其ノ者徵用ニ適セズト認ムルトキハ徵用ヲ解除シ得ルコト

第十 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣被徵用者ノ從事スル總動員業務、職業、場所又ハ徵用ノ期間ニ付變更ヲ必要トスルトキハ厚生大臣ニ請求スペキコト

第十一 厚生大臣第十ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ被徵用者ノ從事スル總動員業務、職業、場所又ハ徵

用ノ期間ヲ變更シ得ルコト

第十二 被徵用者ニ使用スル官衛ノ所管大臣被徵用者ガ疾病其ノ他ノ事由ニ因リ使用ニ適セズト認ムルトキ又ハ其ノ者ニシテ總動員業務ニ從事セシムル必要ナキニ至リタルトキハ厚生大臣ニ徵用ノ解除ニ請求スペキコト

被徵用者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ從事シ難キ場合ニ於テハ所管大臣ニ其ノ旨ニ申出デ得ルコト

第十三 厚生大臣ハ第十二ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テハ徵用ニ解除シ得ルコト

厚生大臣必要アリト認ムルトキハ第十二ノ規定ニ依ル請求ナキ場合ト雖所管大臣ト協議シ徵用ニ解除シ得ルコト

第十四 厚生大臣徵用ノ變更又ハ解除ニ爲サントスルトキハ徵用變更命令又ハ徵用解除命令ニ發シ被徵用者ノ就業地ニ管轄スル地方長官又ハ徵用令書ニ發シタル地方長官ニ通達スペキコト

地方長官徵用變更命令又ハ徵用解除命令ノ通達ニ受ケタルトキハ直ニ徵用變更令書又ハ徵用解除令書ニ發シ之ニ被徵用者ニ交付スペキコト第九第二項ノ規定ニ依リ出頭ノ日時若ハ場所ニ變更シ又ハ徵用ノ解除ニ爲サントスルトキ亦同ジキコト

被徵用者徵用令書ノ交付ニ受ケ徵用令書ニ發シタル地方長官ノ管轄外ノ場所ニ出頭シタル場合又ハ本令施行地外ノ場所ニ於テ就業スル場合ニ於テ徵用ノ變更又ハ解除ニ爲サントスルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣徵用變更令書又ハ徵用解除令書ニ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スペキコト

第十五 被徵用者總動員業務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ總動員業務ニ行フ官衙ノ長ノ指揮ニ受クベキコト

第十六 被徵用者ニ對スル給與ハ其ノ者ノ技能程度、從事スル業務及場所等ニ應ジ且從前ノ給與其ノ他ノ收入ニ斟酌シテ之ヲ支給スルコト

前項ノ給與ニ關シ必要ナル事項ハ所管大臣厚生大臣ニ協議シ之ヲ定ムルコト

第十七 徵用セラルベキ者第八ノ規定ニ依リ出頭スル場合、被徵用者徵用令書ノ交付ヲ受ケ指定ノ場所ニ出頭スル場合又ハ徵用ヲ解除セラレ歸郷スル場合ニ於テハ旅費ヲ支給スルコト

前金拂キ爲スニ非ザレバ出頭スルコト能ヘザル者ノ旅費ハ其ノ者ノ居住地市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ一時繰替支辨スベキコト

第十八 厚生大臣又ハ地方長官ハ本令ノ徵用ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ニシテ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ状況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシメ得ルコト

第十九 本令ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ徵用ニハ之ヲ適用セザルコト

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者ヲ除ク）及召集（箭閣點呼ヲ除ク）中ノモノ（召集中ノ身分取扱ヲ受クル者

ヲ含ム）

二 陸海軍學生生徒（陸海軍依託學生、同依託生徒、海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）

三 陸海軍軍屬（被徵用者ニシテ之ニ該當スルニ至リタルモノヲ除ク）

四 醫療關係者職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者

五 獄警師職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者

六 船員法ノ船員、朝鮮船員令ノ船員及關東州船員令ノ船員

七 法令ニ依リ拘禁中ノ者

第二十 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ特別ノ必要アル場合ノ外之ヲ徵用セザルコト

一 餘人ヲ以テ代フベカラザル職ニ在ル官吏、公吏又ハ官吏待遇者
二 帝國議會、道府縣會、市町村會其ノ他之ニ準ズベキモノノ議員
三 総動員業務ニ從事スル者ニシテ餘人ヲ以テ代フベカラザルモノ

第二十一 厚生大臣ハ本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付内閣總理大臣ニ協議スベキコト

第二十二 本制度ハ前各號ニ準ジ外地ニモ之ヲ實施スルコト

昭和十四年六月十日

内閣總理大臣男爵

平沼騏一郎

拓務大臣

小磯國昭

厚生大臣

廣瀬久忠

國家總動員審議會總裁男爵 平沼騏一郎 殿

別紙諸問第二十號國民ノ徵用ニ關スル勅令案要綱ニ對スル貴會ノ意見
ニ 詰 フ

諮詢第二十號

國民ノ徵用ニ關スル勅令案要綱

第一 徵用ハ特別ノ事由アル場合ノ外職業紹介所ノ職業紹介其ノ他募集ノ方法ニ依リ所要ノ人員ヲ得ラレザル場合ニ限り之ヲ行フモノトスルコト

第二 徵用ハ國民職業能力申告令ニ依ル要申告者（以下要申告者ト稱ス）ニ限り之ヲ行フコト

徵用中要申告者タラザルニ至リタル者ヲ引續キ徵用スル必要アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ者ヲ徵用シ得ルコト

第三 本令ニ依リ徵用スル者ハ國ニ於テ行フ總動員業務ニ從事セシムルモノトスルコト

第四 總動員業務ヲ行フ官衙ノ所管大臣ハ徵用ニ依リ人員ノ配置ヲ必要トスルトキハ厚生大臣ニ請求スペキコト

第五 厚生大臣第四ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ徵用ノ必要

アリト認ムルトキハ徵用命令ヲ發シ徵用セラルベキ者ノ居住地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スベキコト

地方長官徵用命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用令書ヲ發シ徵用セラルベキ者ニ交付スベキコト

第六 徵用令書ニハ左ニ掲タル事項ヲ記載スベキコト但シ軍機保護上特ニ必要アルトキハ第三號ノ全部又ハ一部ヲ省略シ得ルコト

一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍、居住ノ場所

二 従事スペキ總動員業務ヲ行フ官衙ノ名稱及所在地

三 従事スペキ總動員業務、職業及場所

四 徵用ノ期間

五 出頭スベキ日時及場所

六 其ノ他必要ナル事項

第七 地方長官徵用セラルベキ者ノ從事スペキ總動員業務、職業及場所ヲ決定スル場合ハ其ノ者ノ居住又ハ就業ノ場所、職業、技能程度、

身體ノ狀態、家庭ノ狀況、希望等ヲ斟酌スペキコト

第八 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵用セラルベキ者ニ出頭ヲ求メ得ルコト

第九 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者疾病其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ指定ノ日時ニ指定ノ場所ニ出頭スルコト能ハザル場合ハ其ノ旨

地方長官ニ届出ヅベキコト

前項ノ届出アリタル場合ニ於テ地方長官必要アリト認ムルトキハ出頭ノ日時若ハ場所ヲ變更シ又ハ其ノ者徵用ニ適セズト認ムルトキハ徵用ヲ解除シ得ルコト

第十 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣被徵用者ノ從事スル總動員業務、職業、場所又ハ徵用ノ期間ニ付變更ヲ必要トスルトキハ厚生大臣ニ請求スペキコト

第十一 厚生大臣第十ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ被徵用者ノ從事スル總動員業務、職業、場所又ハ徵

用ノ期間ヲ變更シ得ルコト

第十二　被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣被徵用者ガ疾病其ノ他ノ事由ニ因リ使用ニ適セズト認ムルトキ又ハ其ノ者ヲシテ總動員業務ニ從事セシムル必要ナキニ至リタルトキハ厚生大臣ニ徵用ノ解除ヲ請求スペキコト

被徵用者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ從事シ難キ場合ニ於テハ所管大臣ニ其ノ旨ヲ申出テ得ルコト

第十三 厚生大臣ハ第十二ノ規定ニ依ル請求アリタル場合ニ於テハ徵用ヲ解除シ得ルコト

厚生大臣必要アリト認ムルトキハ第十二ノ規定ニ依ル請求ナキ場合ト雖所管大臣ト協議シ徵用ヲ解除シ得ルコト

第十四 厚生大臣徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サンツルトキハ徵用變更命令又ハ徵用解除命令ヲ發シ被徵用者ノ就業地ヲ管轄スル地方長官又ハ徵用令書ヲ發シタル地方長官ニ通達スペキコト

地方長官徵用變更命令又ハ徵用解除命令ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ之ヲ被徵用者ニ交付スペキコト第九第二項ノ規定ニ依リ出頭ノ日時若ハ場所ヲ變更シ又ハ徵用ノ解除ヲ爲サンツルトキ亦同ジキコト

被徵用者徵用令書ノ交付ヲ受ケ徵用令書ヲ發シタル地方長官ノ管轄外ノ場所ニ出頭シタル場合又ハ本令施行地外ノ場所ニ於テ就業スル場合ニ於テ徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サンツルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スペキコト

第十五 被徵用者總動員業務ニ從事スル場合ニ於テハ其ノ總動員業務ヲ行フ官衙ノ長ノ指揮ヲ受ケベキコト

第十六 被徵用者ニ對スル給與ハ其ノ者ノ技能程度、從事スル業務及場所等ニ應ジ且從前ノ給與其ノ他ノ収入ヲ斟酌シテ之ヲ支給スルコト

前項ノ給與ニ關シ必要ナル事項ハ所管大臣厚生大臣ニ協議シ之ヲ定ムルコト

第十七 徵用セラルベキ者第八ノ規定ニ依リ出頭スル場合、被徵用者徵用令書ノ交付ヲ受ケ指定ノ場所ニ出頭スル場合又ハ徵用ヲ解除セラレ歸郷スル場合ニ於テハ旅費ヲ支給スルコト

前金拂チ爲スニ非ザレバ出頭スルコト能ハザル者ノ旅費ハ其ノ者ノ居住地市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ一時繰替支辨スペキコト

第十八 厚生大臣又ハ地方長官ハ本令ノ徵用ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ニシテ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ状況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシメ得ルコト

第十九 本令ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ徵用ニハ之ヲ適用セザルコト

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者ヲ除ク）及召集（簡闇點呼ヲ除ク）中ノモノ（召集中ノ身分取扱ヲ受クル者

（キ）

二 陸海軍學生生徒（陸海軍依託學生、同依託生徒、海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）

三 陸海軍軍屬（被徵用者ニシテ之ニ該當スルニ至リタルモノヲ除ク）

四 整療關係者職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者

五 獣醫師職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者

六 船員法ノ船員、朝鮮船員令ノ船員及關東州船員令ノ船員

七 法令ニ依リ拘禁中ノ者

第二十 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ特別ノ必要アル場合ノ外之ヲ徵用セザルコト

一 餘人ヲ以テ代フベカラザル職ニ在ル官吏、公吏又ハ官吏待遇者

二 帝國議會、道府縣會、市町村會其ノ他之ニ準ズベキモノノ議員

三 總動員業務ニ從事スル者ニシテ餘人ヲ以テ代フベカラザルモノ

第二十一 厚生大臣ハ本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付内閣總理大臣ニ協議スペキコト

第二十二 本制度ハ前各號ニ準ジ外地ニモ之ヲ實施スルコト

國家總動員審議會第六回總會ニ於テ國民ノ徵用ニ關スル勅令案要綱ニ關シ行ハレタル主ナル質問答辯要旨

一、問 答 要綱第一中「特別ノ事由アル場合」及要綱第二十中「特別ノ

必要アル場合」ノ意義如何

要綱第一ニ於テ「特別ノ事由アル場合」トハ軍ノ作戰上祕密フ要スル場合又ハ事態緊急ニシテ紹介募集ノ暇ナキ場合ヲ謂ヒ、第二ニ於テ「特別ノ必要アル場合」トハ徵用セラルベキ者ノ當該ノ身分地位ト徵用ノ必要性トヲ較量シテ尙且徵用ノ必要ガアル場合ヲ謂ヒマス

二、問 答 徵用解除後ニ於ケル措置並ニ徵用ニ依ル勤續年限ノ中断ニ依リ被徵用者ハ不利益ヲ蒙ルコトナキヤ

徵用解除後ニ於ケル復職ニ付キマシテハ行政上ノ措置ニ依リ可成原職ニ復歸シ得ル様努力致スト共ニ原職ニ復歸シ得ザル場合ニハ行政上ノ措置ニ依リ優先的ニ就職ヲ斡旋スル方針デ

アリマス

尙官吏ヲ徵用スル場合ニハ徵用セラレバ官衙ニ於テハ定員外
トシ又ヘ轉任ノ手續ヲ執リ徵用ニ依リ恩給等ニ關シ不利益ヲ
蒙ルコトナカラシムル方針デアリマス又民間ヨリ徵用スル場
合ニハ應召ノ場合ト同様舊使用主トノ關係へ極力存續セシム
ル様斡旋シ被徵用者ガ徵用ニ依リ不利益ヲ蒙ルコトナキ様行
政上ノ措置ヲ講ズル方針デアリマス

三、問 徵用者ヲ具體的ニ定ムル官廳及各徵用者ニ對スル給與額ヲ定ムル官廳如何

答 具體的ニ徵用者ヲ決定スルノヘ地方長官デアリ、各被徵用者ニ對スル給與ヲ具體的ニ決定スルノヘ被徵用者ヲ使用スル官

四 尚一委員より本案へ重大ナルア以テ之ガ運用ニ付テハ十分注意ス
ル様ニトノ希望意見ノ開示アリセリ

內閣總理大臣

呂中一曰三才圖會

閣書記官長

內閣書記官

卷之三

法制局長官

卷之三

外務大臣

陸軍大臣

文部大臣

遞信大臣

厚生大臣

臣
希

内務大臣

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

近衛樞密院議

卷之三

別紙内閣總理大臣及拓務大臣請議事
業主總動員計畫令制定，件
ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

去 刑 司